

1-5 メコン河流域の人びとの暮らし

暮らしを支える川

メコン河流域の人口は、約6,000万人にのぼる。内訳は、ラオス約520万人、タイ約2,310万人、カンボジア約1,300万人、ベトナム約1,870万人で¹、そのうち約85%が農村部に暮らすとみられている（MRC 2010: 31-32）。農業、漁業、水生生物や植物の採取などをふくむ流域の人びとの経済活動で、この地域の労働人口の62.6%が水資源に由来するものを主たる生業としている（MRC 2010: 48）。

河川は、都市部の水道の水源であるだけでなく、農村部では、乾季の主要な生活用水の水源となっている。川沿いの集落では、飲料水、生活用水、農業用水など、ほぼすべてを川に依存している。川は、子どもの遊び場としても重要な意味を持っている。



乾季に水位が下がる河岸は、強い乾燥にさらされるこの地域の重要な畑作地となる。また、流域の農村部での重要なタンパク源は、メコン河流域の本・支流と、そこにつながる沼や旧河川などで捕獲される淡水魚である。メコン河流域で現在確認されている魚種は約850種といわれるが²、そのほとんどが食用となっている。魚やカエルをふくむ水生生物は、人びとのタンパク質摂取の根幹を支える資源であり、重要な収入源ともなっ

ている。季節的な労働や副業をふくめると、流域の4,000万人がメコン河水系で漁業に従事している。カンボジアでは、人口の約40%がトンレサップ湖とその周辺の浸水林（Flood Plain）にその生計を頼っている（MRC 2010: 49）。

また、河川は、重要な交通網でもある。ラオスの人びとの間では、川沿いに集落を広げた歴史が記憶されている。そのラオスに国境を接するタイのウボンラチャタニ県では、かつて、タイ側の住民がラオス側の山岳地で焼畑をすることもあった。タイとラオスのメコン河流域では、双方の住民の間に縁戚関係がある。現在のように道路網が発達する前には、陸よりも川の方が、移動や物品の運搬は容易で、河川が国境として認識されはじめたのは、ごく最近のことである。

川にまつわる信仰

メコン河をはじめ、流域の河川は、精神的にもその地に住む人びとにとって、特別な意味をもっている。タイやラオス、カンボジアでは、人びとの信仰の中心である仏教寺院は、川沿いに建てられることが多い。また、フィールド調査では、さまざまな物語を聞く機会がある。例えば、ラオスの南部では、「メコン河の底に龍宮城がある」と言い伝えられている。河口など特別な場所には、強い精霊がいると信じられており、漁で船を出すときだけでなく、陸路で近くを通る際も、祈りをささげなければ危険だと信じられている場所もある³。メコ

ン河の支流、タイのムン川のさらに支流であるラムドムノイ川付近では、漁をする際に、心の中で精霊に漁の許しを請う。また、川は、龍が争ってできた跡だという伝説がタイやラオスに広く伝わっている。

精霊は魚にも宿る。300kgほどに成長する世界最大の淡水魚のひとつ、メコンオオナマズは、その大きさにもかかわらず、生態はほとんど分かっていない。しかし、捕えた時にコケなどしか胃の中にないため、タイの漁師は、この魚が菜食で、仏教の戒律を守って生きていと信じている。ウボンラチャタニ県では、以前、オオナマズが網にかかるのは、非常に不吉なこととされていたが、現在は、高値で取引されている。しかし、徳のある魚を殺害した罪により命を落とすことを恐れ、今でも魚を売った後に丁寧な法事を営む。

毎年、雨季が終わったころ、メコン河やその支流では、ボートレースが開催される。河川は、祭りの場でもある。また、4月のタイ民族やラオ民族の正月に、人びとは、川岸に、仏塔に見立てた砂の塔を建てて祝う。世界遺産となったラオス・ルアンパバンでの行事はよく知られているが、メコン河支流の東北タイ・ムン川、カンボジアのセコン川などでも、同様の習慣があったと云う。



人びとの自主的な河川利用

ラオス南部のボロベン高原などでは、中国製の小型発電機を使った小規模水力発電が普及してきた。発電機は、地元の市場で販売されており、数世帯共同で200～300ドルを投資するだけで、住民自身の手で設置できる簡便なものである。水の落差が2mほどあれば発電できる。海外からの開発援助を待たずとも、村民が自力で電力を入手でき、維持管理も可能である。ラオスの非電化村では、住民の一部がバッテリーの充電業を営む姿も見られ、小規模ビジネスも生まれている。

<参考資料：英語>

Mekong River Commission (MRC). 2010. State of the Basin Report 2010.

<http://www.mrcmekong.org/assets/Publications/basin-reports/MRC-SOB-report-2010full-report.pdf>

(木口由香)

1. 中国部分の人口は、不明。
2. BP 1-4「メコン河～世界最大の淡水漁場」を参照。
3. 例えば、ラオス・カムアン県のバッカディン川河口。